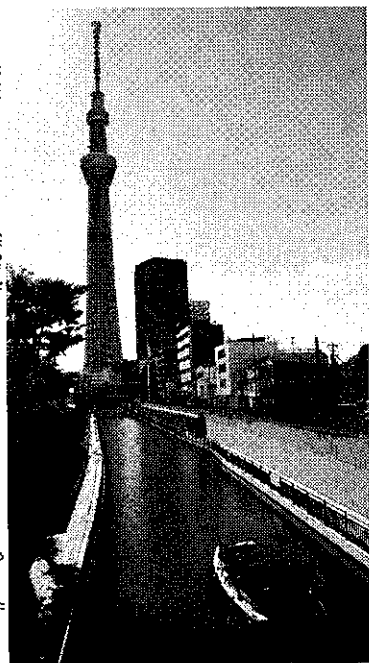


お江戸日本橋舟めぐり

東京スカイツリーへ新コース



用していた。堀の多くが道路と化してしまつたが、東京で往時の面影を辿るには、水路めぐりは最適なのだ。

コースのほとんどは当時の江戸経済の中心地だつたお江戸日本橋から出発。江戸幕府を開いた徳川家康が最初に架けた橋で、五街道の起点とされた。現在の橋は明治44年(1911)に石橋として架け替えられたもので、「日本橋一の橋」は15代将軍の徳川慶喜の筆だ。今回乗船したコースは、日本橋川から隅田川に出た後、小名木川へ。小名木川は家康が江戸入りした直後の天正18年(1590)に、掘削させた人工河川で、兵糧確保のため、行徳の塩田から江戸中心部まで最短で塩を運ぶ大動脈だつた。ハイライトは扇橋閘門だ。舟を2つの門の間に挟んで水位を調節する水のエレベーターで、みるみるうちに水位は2メートル以上も下がり、景色が変わる様を実感できる。潮の満ち引きによつて一日に2・5メートルも水位が変動する日があるため、高水位時は舟が橋の下を

日本橋のたもと船着場から出発した一隻の電気ボート。かつて日本橋川の川面から江戸城と富士山が一望できたという江戸時代の浮世絵に想いを馳せる。それにしても静かだ。中央通りや昭和通りの喧騒も届かない穏やかな水面をしばし進むと、舟は隅田

編集者・江戸研究者

有澤 真理

川との合流地点にたどり着く。一気に川幅が広がり、かすかに潮の香りがしたと思つた瞬間、舵を切つた進路の正面に東京スカイツリーの雄姿が目に見えびんできた……。

これは江戸東京再発見コンソーシアムが主催する「お江戸日本橋舟めぐり」で、今春から新たにコースに加わつた「634コース」のクルージングの様子だ。東京観光のさらなる活性化を目的に、江戸の面影を川面から見出す歴史散策的なクルージングを、現在全5コース運営している。

そもそも東京の前身である江戸は水運都市だった。江戸城の近くまで深い入り江を成

川面からみた水の都・江戸の面影、東京の魅力再発見

し船を乗り合いバスのように、船頭ひとりに客ひとりの猪牙舟をタクシーのように利用

する所にある渡

手前のいづれも陸路ではなく水路が中心だつた。全国から菱垣廻船で江戸湊に届く物資は、隅田川の河口で小型船に積み替えられ、江戸の隅々まで届けられた。江戸っ子は至る所にある渡し船を乗り合いバスのように、船頭ひとりに客ひとりの猪牙舟をタクシーのように利用

くぐれない。そのため全コースは潮を考慮した運航が前提になるから、現代の東京において、自然のご機嫌次第で遊び方を愛する粋な観光といえるだろう。その後、横十間川を通過し、北十間川沿いのスカイツリー真下の船着場に到着しコースは終了する。日本橋から約1時間半、情緒たっぷりに東京新名所を訪れる舟遊び。東京と江戸をつなぐ面影探しだけでなく、新たな観光の風を確かに実感させてくれる川面のひとときだ。(ありさわ・まじ)

土用丑の日

春分や立夏、夏至といった二十四節気は、もともと、中国の気候をもとに考えられたものなので、日本の気候とは合わないところがある。そこで、日本の気候に即して、土用や八十八夜、入梅といった区切りが取り入れられたわけだが、これを「雑節」と呼ぶ。

言葉の遠近法

私たちになじみ深いのは、立秋直前の夏の土用だろう。土用の日といえは、誰でも鰻が思い浮かぶに違いない。今年の土用丑の日は七月二十二日、二の丑は、八月三日。この土用丑の日に鰻を食べるといふ習慣は、江戸時代後期に始つたものだというが、夏になると売れなくなる鰻屋の相談を受けた平賀源内の発案だとい

これは、石麻呂という人物に家持が、夏痩せにいいから鰻を食べなさいと勧めた歌。なんと八世紀の日本人も夏の栄養食に鰻がいいことを知っていたことになる。もっとも、稀代の陶芸家にして美食家、北大路魯山人によると、鰻が、もっとも美味しいのは産卵前で身が肥えた冬場なのだから。暑さの厳しい夏場には、鰻も夏痩せするということか。

朱理 城戸 詩人

今年土用丑の日は七月二十二日、二の丑は、八月三日。この土用丑の日に鰻を食べるといふ習慣は、江戸時代後期に始つたものだというが、夏になると売れなくなる鰻屋の相談を受けた平賀源内の発案だとい

*「お江戸日本橋舟めぐり」の634コースは、「日本橋船着場」と「おしなり公園船着場」を結ぶ各回片道コース。8月までのスケジュールは、7月19日15時10分と17時、27日15時、8月5日11時15分、17日11時45分、21日11時15分、23日9時と10時50分を予定。各回10人(予約優先)。片道で大人3500円、子供(4歳~12歳)2500円。問い合わせ03・3668・0700。このほか、日本橋川、神田川、小名木川、深川の各コースがある。詳細は、<http://www.edo-to-kyo.info/ship/>